

日本福祉大 東海キャンパス拡張が着工 設計施工＝鴻池組

異彩を放つシンボルに



完成イメージ



齋鎌の原田学長(左)、鈴木学園長(中央)、丸山理事長

日本福祉大学が、学園創立70周年記念事業の一環で整備する「日本福祉大学東海キャンパス拡張事業新築工事」が鴻池組の設計施工で着工した。愛知県東海市の東海太田川駅西土地地区画整理事業区域内の現地で8日に

開かれた安全祈願祭には関係者約50人が出席し、無事故・無災害の事業完了を祈願した。

祈願祭では、同大学の丸山悟理事長と鈴木正修学園長、原田正樹学長が齋鎌(いみかま)、鴻池組の渡津弘己社長が齋鎌(いみくわ)を行った。

あいさつに立った丸山理事長は「地域のアカデミックコミュニティ、地域課題解決の力ルチャーセンターとして地域の



あいさつする渡津社長

期待に応え、日本で異彩を放つシンボルを目指す」と意気込んだ。

来賓の花田勝重東海市長は「リニア中央新幹線開業のインパクトを生かしてまちづくりする上で重要な施設だ。学生が市全体を学びの場として生かすことを期待する」と述べた。

渡津社長は「魅力あふれる建物とするため、全力を尽くしていく。創立70周年の最重要プロジェクトであることを肝に銘じ、安全第一で工事を進める」と語った。

東海キャンパス(大田町下浜田1071)を拡張し、新施設を建設する。規模はSRC・S造3階建て延べ約1万3500

平方メートル。建設地は同キャンパス西側隣接地の約2万5700平方メートル。2027年4月の供用を目指す。

新施設には、美浜キャンパス(美浜町奥田)から社会福祉学部を移転する。東海キャンパスにある看護学部などと連携し「ふくしの総合大学」の社会実層型キャンパスとして新たな教育・研究の実現を目指す。



福本篤司所長(鴻池組)の話

「これまで準備を進めてきた皆さんの思いにこたえられるよう一丸となって施工する。多目的ラウンジなど見せ場となる空間は特に注意し、完成度の高い建物にする」